

様式第7号（第11条関係）

犯罪被害者支援プロジェクト事業実績報告書

令和4年3月25日

静岡市長 田辺信宏 様

所在地	静岡市葵区両替町一丁目4番地 15 芙蓉ビル4階
報告者 名称	認定 NPO 法人 静岡犯罪被害者支援センター
代表者の氏名	理事長 白井 孝一
電話番号	054-651-1021

令和3年10月1日付け03静市市第3882号により補助金の交付の決定を受けた事業が完了したので、静岡市犯罪被害者支援プロジェクト補助金交付要綱第11条第の規定により、次のとおり関係書類を添えて報告します。

- 1 交付決定額 695,456円
- 2 事業完了年月日 令和4年3月25日
- 3 添付書類
 - (1) 事業実績書（様式第8号）
 - (2) 収支決算書（様式第9号）



事業実績書

事業名称	犯罪被害者支援プロジェクト
事業実施期間	令和3年10月1日 ~ 令和4年3月25日
実施場所	静岡市内
総事業費	717,197円
事業目的	<p>犯罪被害に遭われた方々の現状を知っていただき、犯罪被害者支援の必要性を訴えるために、積極的に広報を行う必要があります。現状の広報費で行える活動は、広報誌の発行や、「犯罪被害者等支援講演会」開催(年1回)、パンフレットの作成・配布などに限られています。</p> <p>もっと必要とされる方に情報が届き、精神的負担を軽減させたい。そして、誰もが犯罪被害者等になり得る中で正しい知識を持っていただくために、SNSを活用した広報やテレビ・ラジオによるCM放送を積極的に実施していくとともに、この活動を通して『静岡犯罪被害者支援センター』を身近に感じていただき、犯罪被害者やご家族が安心して相談できるようにする。</p>
事業内容	<p>ア 啓発動画等の作成</p> <p>①CM制作・放送</p> <p>CM動画を制作し下記日程で放送を行った。また、常葉大学造形学部へイラスト制作を依頼した。動画の他ラジオCMを作成し、放送した。大学へのイラスト制作の依頼に際し、若い世代にも犯罪被害者支援に関心を寄せていただくよう働きかけを行った。</p> <p>(ア) テレビスポットCM放送期間 令和3年12月28日(火)~令和4年1月31日(月)</p> <p>(イ) ラジオCM放送期間 令和4年1月20日(木)~同年1月31日(月)</p> <p>(ウ) ラジオ生出演 SBSラジオ「鉄崎幹人のWASABI」 (10:25~10:29)</p> <p>②広報誌「支援センターだより」vol.52発行 巡回相談やCM制作などについて記事を掲載した。当支援センターへの信頼度を向上させることになり、これからの事業支援へとつなぐきっかけとなった。 発行部数：5,000部 配布先：会員・寄付者、警察署、行政窓口 等</p> <p>イ 犯罪被害相談員等のスキルアップ研修の開催 被害者等のニーズに柔軟に対応していくために、犯罪被害相談員や直接的支援員のスキルアップと後継者の育成を図った。 開催日時：令和3年10月19日(火)13:30~15:00 受講人数：19人</p> <p>ウ 巡回相談 市民が利用する静岡市役所において巡回相談を実施した。 当支援センター犯罪被害相談員と静岡県弁護士会犯罪被害者支援委員会所属の弁護士、更にカウンセラーも同席し、専門家</p>

	<p>へ直接相談することができた。 開催日時：①令和3年11月25日(木) 10:00~12:00、13:30~15:30 ②令和3年11月27日(土) 10:00~12:00、13:30~15:30 相談件数：のべ1人</p>
<p>事業を実施したことによる効果や影響</p>	<p>CM動画等の制作・放送により、静岡犯罪被害者支援センターの活動を見聞きする機会が大幅に増加した。また、巡回相談、相談員のスキルアップ研修の実施により、犯罪被害者等へ直接的間接的に更なる支援を実施することができ、もって、犯罪被害者等への支援の強化に寄与した。</p>

収支決算書

収入		支出	
犯罪被害者支援プロジェクト補助金	695,456	CM制作・放送 広報啓発費 CM制作代	550,000
自己資金	21,741	広報誌発行 印刷製本費 振込手数料	110,000 165
		スキルアップ研修 継続研修会場代 研修案内郵送代	1,200 4,452
		巡回相談 諸謝金 弁護士・カウンセラー4人 支援ボランティア3人	46,000 3,000
		旅費交通費 弁護士・カウンセラー4人 支援ボランティア3人	760 1,620
計	717,197	計	717,197